

⑨ 日本国特許庁 (JP)

① 実用新案出願公開

② 公開実用新案公報 (U)

昭55—24673

③ Int. Cl. 9

F 28 F 3/06
B 23 K 1/12
F 28 D 9/00
F 28 F 21/08

識別記号

府内整理番号
7820—3L
7516—4E
7038—3L
7146—3L

④ 公開 昭和55年(1980)2月18日

審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑤ 热交換器

⑥ 実 願 昭53—107395

⑦ 出 願 昭53(1978)8月4日

⑧ 考 案 者 茂呂信光

宇都宮市西大寛2—5—34

⑨ 出 願 人 富士重工業株式会社
東京都新宿区西新宿1丁目7番
2号

⑩ 代 理 人 弁理士 清瀬三郎 外1名

⑪ 実用新案登録請求の範囲

(1) 冷媒流路となるスリットを設けたチューブ1の上下面に端部に流路孔となる孔を設けたプレート2を重ね合せて冷媒流路管aを構成し、該冷媒流路管aを複数個流路通通用のスペーサを介して積重ね、該各冷媒流路管a間にジグザグ状に折曲構成したフィン6を介設し、これらをローリー付して一体構造とするアルミ又はアルミ合金製熱交換器において、スペーサとして内側に向いた面に補強とフィン6端のストップを兼ねたひれ30aを設けた押出形材よりなるスペーサブロック30及び該スペーサブロック30と同形状でその外側に向いた面に取付用耳部30b'を一体に形成した押出形材よりなるスペーサブロック30'を用い、入口及び出口のヘンダ40及び50として上記スペーサブロック30の一面に接続金具取付用の穴を設けて構成したものを用いたことを特徴とする熱交換器。

(2) 冷媒流路管aを構成するプレート2の流路孔となる孔の周縁の一部に突起2bを形成し、スペーサブロック30, 30'、入口及び出口へ

ツダ40, 50等の流路内面に上記突起2bが嵌入結合する凹溝を形成したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の熱交換器。

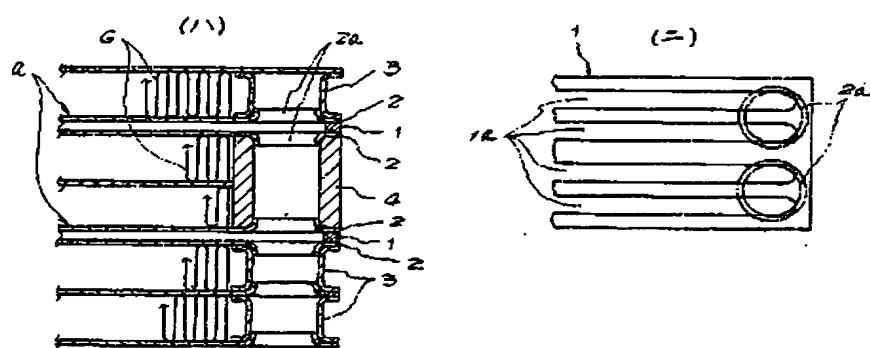
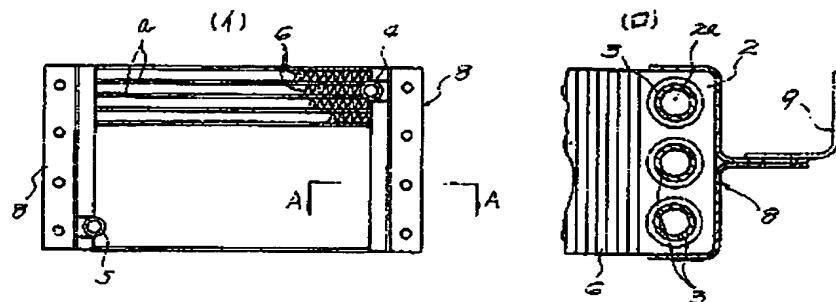
図面の簡単な説明

第1図イ、ロ、ハ、ニは従来構造を示す正面図、A—A断面図、イ図の要部縦断面図及びチューブの一部平面図をそれぞれ示す。第2図イ、ロ、ハ、ニは本考案実施例の正面図、B—B断面図、イ図の要部縦断面図及びハ図のC—C断面図をそれぞれ示す。第3図は第2図ロに示すスペーサブロックの他の形状例を示す図である。第4図イ、ロ、ハは本考案の他の実施例を示す要部縦断面図、横断平面図及びプレートの要部平面図である。

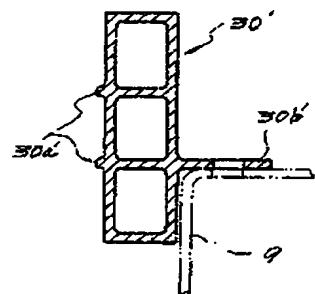
1……チューブ、1a……スリット、2……プレート、2a……孔、2b……突起、30, 30'……スペーサブロック、30a, 30a'……ひれ、30b'……取付用耳部、40……入口ヘンダ、50……出口ヘンダ、40a, 50a……ひれ、40b, 50b……接続金具取付用穴、30c, 30c'……凹溝。

実開 昭55-24673(2)

第1図

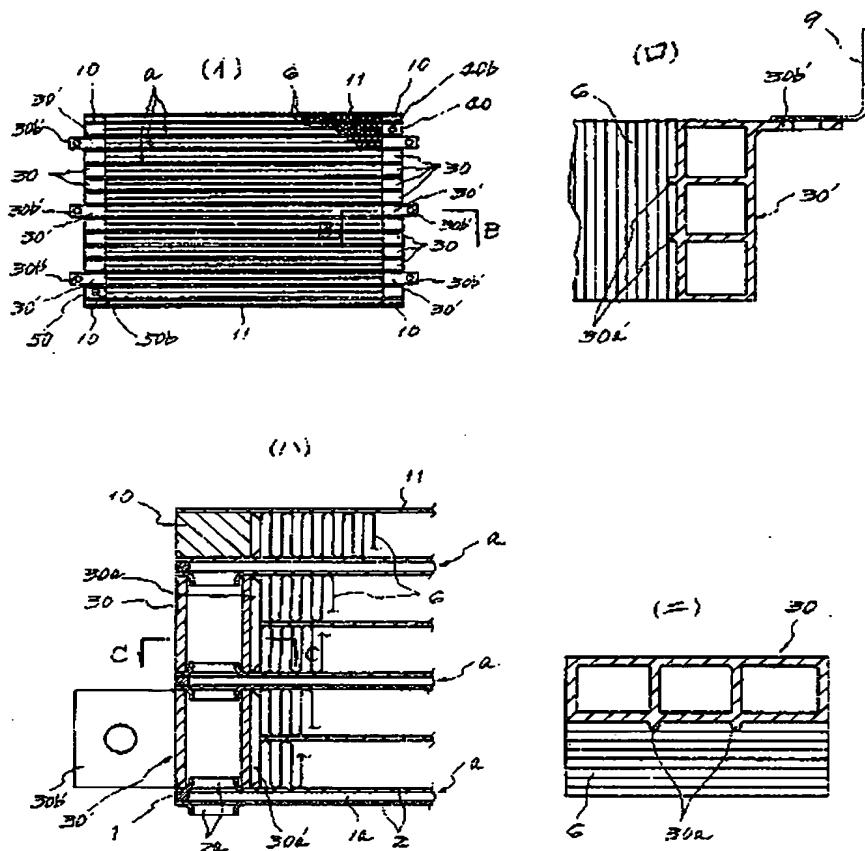


第3図



実験 昭55-24673(3)

第二圖



- 175 -

BEST AVAILABLE COPY

実開 昭55-24673(4)

第4図

